2023年 ふくやま書道美術館催物案内　5月

日	曜
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月
30	火
31	水

常設展示室・展示室

春の所蔵品展

「明末ロマン派 ― 王鐸（おうたく）・瑞図（ずいと）・傅山（ふざん）らの熱情」

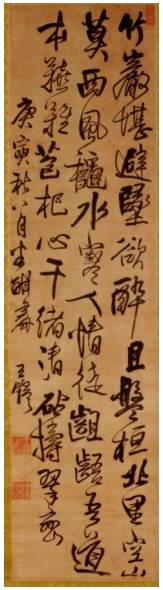
会期：2023年4月5日(水)～5月14日(日)

休館日：月曜休館　※ただし4月24日(月)，5月1日(月)は開館。

会　場：常設展示室・展示室

展覧会内容

中国・明代の末期には張瑞図をはじめ，黄道周・倪元璐・王鐸・傅山らが巨大な紙絹に，草書を一筆で連続して書く，連綿草を展開し，新たな書表現を追求しました。本展では，後に「明末ロマン派」と呼ばれた彼らと，同時代の人びとの書画に光を当て、万彩に咲き誇った筆墨の広がりを展観します。



王鐸《行書五言律詩軸》

展示替えのため休館　5月16日(火)～17日(水)

夏の所蔵品展Ⅰ

「The 屏風　― 開けば広がる小宇宙」

会期：2023年5月18日(木)～6月18日(日)

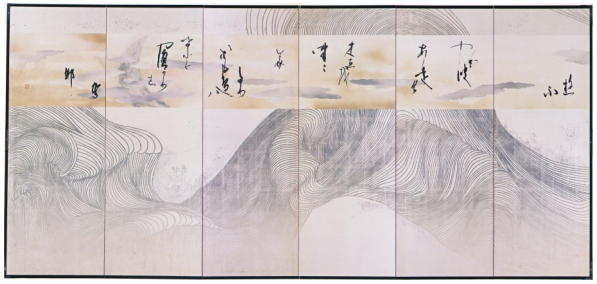
休館日：月曜休館

※5月26日(金)，27日(土)，6月2日(金)，3日(土)は夜間開館のため，午後7時まで開館します。

会　場：常設展示室・展示室

展覧会内容

風よけや部屋の仕切りとして用いられていた屏風は，日本でも近世には安土桃山時代から江戸時代にかけて金地のきらびやかなものがたくさん作られました。本展では，当館所蔵の池大雅，菅茶山など江戸時代のものから，桑田笹舟など現代作家の作品までを展観し，屏風の魅力を紹介します。



桑田笹舟《日月》

パカーン！屏風だらけの展示は初!!

5月中旬から企画している「The屏風　ー開けば広がる小宇宙」という展覧会ですが，約20点の屏風仕立ての作品を展観予定です！ なんと，ふくやま書道美術館の所蔵品展のなかでも，屏風のみを展示する展覧会は初めてですよ。

軸や巻子，額作品は基本的に鑑賞目的に制作されていますが，もともと屏風の役割は「風よけ」そして「間仕切り」です。使用目的を持った形態のものに芸術作品が組み込まれることによって，空間演出機能が備わり，現代風に言うと「インテリア」として変容します。屏風は，凸凹しておりもちろん鑑賞に特化した形態ではありませんが，開けば空間を包み込むような力を持ち，作品の世界観を体で感じることができます。

作家も，湧き上がる自身の芸術観を観覧者に感じてもらいたいとの思いで，屏風制作は作品制作の中でも特別なもの，集大成的なものとして位置づけることが多いのが特徴です。個性の風が吹き混じる展示会場になりそうですね。

開かれた屏風の小宇宙☆ぜひ，体感しに来てくださいね!

所蔵品展観覧料

一　般	１５０円　（１２０円）
高校生以下無料	

※(　)内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が**無料**です

- ■社会福祉施設に入所されている方
- ■福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方（運転免許証や健康手帳など、住所・年齢が確認できるものが必要）
- ■身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時３０分から午後5時までです。
※月曜日【　　】の日】は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY
ふくやま書道美術館
〒720-0067　福山市西町二丁目4番3号
JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m　TEL 084-925-9222
Webページ　www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/
電子メール　syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp